

「プレス加工における潤滑剤・潤滑技術の最前線」

主 催 一般社団法人日本金属プレス工業協会

協 賛 一般社団法人東京都金属プレス工業会、一般社団法人日本金型工業会

協 賛 一般社団法人日本塑性加工学会 プロセストライボロジー分科会

プレス加工において潤滑剤は大変重要な働きをしています。しかし、環境・健康への影響も大きな問題となっており、その対応のために潤滑剤は日々進化し続けています。本研究会では、最新の潤滑剤とその性能を最大限に引き出すための潤滑技術について取り上げました。多数の参加をお待ちしています。

【開催日】 平成29年7月27日(木)

【会場】 東京：機械振興会館 6階 6-66

※受付開始は9：30からとさせていただきます

【総合司会】 元湘南工科大学 教授 片岡 征二 氏

【プログラム】 開会の辞

- 1 文献データベースに見る最新潤滑技術の動向 ----- 10：00～10：40  
アイルブ(株) 代表取締役 石橋 格 氏  
日本塑性加工学会 プロセス・トライボロジー分科会で構築している潤滑剤・潤滑技術に関する文献データベースをもとに、環境に配慮した最新の潤滑剤・潤滑技術の動向について紹介する。
  - 2 塩素フリー潤滑油でどこまでできるか ----- 10：40～11：20  
日本工作油(株) 技術部 主任 村本 兼一 氏  
塩素系潤滑油は高性能であるが環境負荷が高く、塩素フリー潤滑油への切り替えが進んでいる。ここでは塩素潤滑油と塩素フリー潤滑油の潤滑性の違いやメリット・デメリット等、各種情報を紹介する。
  - 3 冷間塑性加工向けボンデ代替潤滑剤 ----- 11：20～12：00  
日本パーカライジング株式会社 総合技術研究所第6研究センター専門課長 小見山 忍 氏  
主に冷間鍛造や冷間圧造分野にてボンデを代替する一液型潤滑剤の採用が国内外で進んでいる。ここでは、環境保全と飛躍的な潤滑工程の短縮を実現する話題の一液型潤滑剤とその展開状況などについて紹介する。
  - 4 生産工程における水溶性加工油の役割と環境問題について ----- 13：00～13：40  
油研工業(株) 営業部 窪 大介 氏  
弊社における、水溶性加工油の開発案件による、組み内容と加工現場における実例と対応。各種鋼材の塑性加工に適した油剤の選定と環境対応について紹介する。
  - 5 ここまで進化した無洗浄油 ----- 13：40～14：20  
日本工作油(株) 技術部 課長 平野 真一 氏  
完全脱脂レス製品の性能の向上限界と高コスト化傾向。それに対し、完全脱脂レスが要求される加工に本当に完全脱脂レスが必要なのか？ その疑問点見直しから始まった、被加工材料、用途等に合わせた、用途別特化による一次性能の向上とコストアップの抑制。
  - 6 WPC 処理ならびに DLC 複合処理による潤滑特性の向上 ----- 14：20～15：00  
(株)不二 WPC 技術部 取締役 技術部長 熊谷 正夫 氏  
WPC 処理の概要と金型等に適応する場合の、機械的な効果(疲労強度や摺動性の向上など)や表面テクスチャリングの効果(油保持性など)について示す。また、DLC をはじめとした硬質薄膜との複合による、耐摩耗性向上による形状保存や摺動特性の向上など複合効果について紹介する。
  - 7 グリーン製造技術を目指した環境負荷低減加工の実例と課題 ----- 15：20～16：00  
(有)豊岡製作所 代表取締役 豊岡 勉 氏  
セラミックス工具等を使用した非塩素系加工油によるステンレス鋼板の絞り加工、および、多工程により成形される深絞り製品への工数削減の実例を紹介する。
  - 8 マイクロテクスチャ型技術：これからの潤滑剤・潤滑技術の進む道 ----- 16：00～16：40  
芝浦工業大学 デザイン工学部 教授 相澤 龍彦 氏  
金型表面に選択的に形成したマイクロテクスチャは、最少量潤滑条件(MQL)でのセミドライ成形加工における「ベアリング」として有効である。本講では、プラズマ技術・レーザー技術によるマイクロテクスチャ形成法およびボールオンディスク法による基礎データを紹介するとともに、新たな塑性加工への展開について展望する。
- 総合討論 (総合司会 片岡征二 氏、講師全員) ----- 16：40～17：00

## 参 加 要 領

- ◆ 定 員 80名
  - ◆ 参加費 (テキスト代含む)
    - 本協会会員 10,000円
    - ※2名以上同時に申し込みの場合は、1名につき7,000円
    - 会 員 外 15,000円
- 日本塑性加工学会プロセスライポロジー分科会会員は5,000円

### ◆ 申込方法

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックスにてお申し込みください。なお、本協会ホームページからでもお申し込みができます。→ <http://www.nikkin.or.jp>

\* 受付完了後、メールまたはファックスにて「参加証」の送付をさせていただきます。

### ◆ 参加費のお支払い方法

平成29年7月21日(金)までに下記の銀行口座にお振込  
くださいますようお願いいたします。

お振込み料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

(お 振 込 先)

**みずほ銀行 新橋支店 (普通口座) 1746965**

(口座名) **一般社団法人日本金属プレス工業協会**

\* 当日の参加費のご持参については、十分な対応が困難なため、お断りしております。

### ◆ キャンセル

当日にキャンセルされた場合は、ご入金いただきました参加費はご返金いたしませんので予めご了承をお願いいたします。

### ◆ 締め切り

平成29年7月21日(金) (定員に達し次第締め切らせていただきますので、お早目にお申し込みください。)

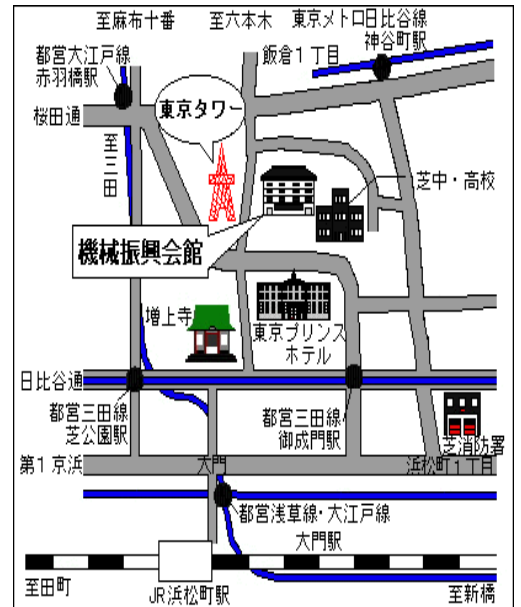
### ◆ 参加申込みのお問い合わせ

TEL: 03-3433-3730 FAX: 03-3433-7505 一般社団法人日本金属プレス工業協会

一般社団法人日本金属プレス工業協会 宛

FAX: 03-3433-7505

機械振興会館案内図



- 営団地下鉄日比谷線神谷町駅下車徒歩6分
- 都営三田線御成門駅下車徒歩7分
- 都営大江戸線赤羽橋駅下車徒歩7分
- 都営浅草線・都営大江戸線大門駅下車徒歩9分
- JR・東京モノレール浜松町駅下車徒歩15分

## 第99回金属プレス加工技術研究会参加申込書

御社名		連絡ご担当者お名前	
所在地 〒			
TEL		FAX	
受付番号	お 名 前	部署・お役職名、およびご所属工業会・学・協会名 e-mail	
振込み予定日	参加費                      円                      月                      日 に振込みます。		

平成29年      月      日